

# FISHING トピック No.50

## ばんしゅう ふうぶつし お 晩秋の風物詩「落ちハゼ」

日に日に寒くなり本格的な冬の到来が間近に迫っているのを感じる今日この頃。来月開催される今年度最後のMFCの下見へ柄杓田漁港に出かけました。今回は晩秋の風物詩「落ちハゼ」を投げ釣りで狙います。さて、みなさんは落ちハゼという言葉を目にしたことがあるでしょうか？落ちハゼとは水温の低下とともに深場へ移動していくハゼのことです。ウキ釣りやミャク釣り



など浅瀬でハゼを狙っても釣れなくなる時期からがシーズン。15~20cmの大型が多く、中には20cmを超えるものも！大型になると引きも強くなり、ハゼとは思えないようなアタリを楽しむことができます。20cmを超えるハゼを求めて釣り開始！遠投してアタリを待ちます。しばらくすると小さなアタリが！上げてみるとヒイラギ。その後もヒイラギは釣れるものの本命のハゼは姿を見せず…。根気よくアタリを待っていると今までと明らかに違う強い引き。釣れたのは18cmのマハゼ！その後も立て続けにマハゼがヒット。最終的に12匹釣り上げることができました。そして、最後の最後に思わぬ大物もGET以前（No.48）紹介したタイワンガザミ！今年はタイワンガザミを含めワタリガニの仲間が好調に釣れているみたいです。MFC当日も大物との出会い

そして落ちハゼがたくさん釣れることを願うばかりです。何より天気にも恵まれますように！最終回のMFCの活動の様子は『活動記録』に掲載予定です。みなさん是非ご覧ください！寒くなり外に出るのが億劫になり始めるころ、釣り納めとしてハゼ釣りに出かけてみてはいかがでしょうか？朝晩は厳しい冷え込みになるかもしれません。防寒対策をしっかりと出かけてくださいね♪みなさんがたくさんの魚と出会えることを心より願っています。